

初歩からはじめる品質活動

基礎コース

製品やサービスの品質は会社の命であり、社員一人ひとりにとっても命です。品質問題は会社の存続をも決定づけてしまいます。この講座では品質管理（QC）の基礎スキルや現場で使える品質の見える化手法を学ぶと共に、モノづくり品質の基本となる現場での実践方法や考え方を学びます。さらに、いま話題のIoTと品質管理についても触れます。講義だけでなく簡単な演習も取り入れています。

対象 ものづくり現場のリーダー（中核人材）の皆様
経験年数5～10年程度

定員 35名

時間 9:30～16:30 6時間
(9:00から受付)

日程 2019年 4月18日(木)

会場 岐阜工業高等専門学校
図書館 多目的ホール
あるいは ビデオルーム

※本研修には、筆記具、電卓(関数電卓が望ましい)を持参ください。

研修後のフォローアップ

研修後、ご希望により、逆スクーリング制度（フォローアップ）を実施します。

講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。（有料）

講師紹介

中居 仁司

複写機メーカーで複写機のメカ設計担当。品質工学の社内研究会で現場での実践や普及活動も経験。1985年電機メーカーに転職後レーザープリンターの開発・製品化を担当。2000年以降、商品戦略・企画推進や組織マネジメントを担当。特許戦略や技術開発の推進、CFT(部門横断型機能チーム)の運営も数多く経験。2013年から同社人事部でキャリア研修の企画推進やキャリア相談を担当。2018年退職・独立。
・専門分野：品質工学、キャリア育成 ・日本画像学会会員 ・キャリアコンサルタント(国家資格)

プログラム

1. 品質の重要性を考える

- 1 日本の製造業で最近、品質問題が多いのは何故？
- 2 品質とは何？ 様々な品質の定義
- 3 品質活動が会社を支える
- 4 お客様満足「お客様」は誰のこと？

2. 品質活動の基本を理解する

- 1 品質管理の基本的考えかた
- 2 PDCAサイクルと3現主義（現場、現物、現実）
- 3 QC的問題解決法
- 4 QC七つ道具、新QC七つ道具

3. 品質管理の基礎知識を学ぶ

- 1 データのバラツキに注目
- 2 平均値と標準偏差
- 3 バラツキ具合で工程を把握
- 4 管理限界と規格幅

4. 品質の見える化手法をものにする

- 1 気付かない問題や隠れている要因の見える化
- 2 有効な対策の見える化と全社展開
- 3 IoTの利用でデータを活用

5. 職場での品質向上運動を進める

- 1 QCストーリーで問題解決
- 2 改善活動と標準化
- 3 もしも品質問題が起きたら
- 4 まとめ